

一般国道 57 号 中九州横断道路（大津西～下硯川）の 有料道路事業導入決定について （熊本市長コメント）

本日、国土交通省から、一般国道 57 号 中九州横断道路（大津西～下硯川）について、高速道路会社への事業許可を行ったとの発表がありました。

本市では、中九州横断道路の一日でも早い開通に向け、熊本県とともに有料道路事業の導入を国に提案し、導入に向けた都市計画手続きや要望活動などを進めてきましたので、今回の有料道路事業の導入決定の発表を大変うれしく思っております。

沿線地域では、世界的半導体企業である T S M C が、3 ナノメートルプロセス世代の半導体を量産する計画が決定されるなど、今後、半導体関連企業の立地の動きは更に加速していくと想定されます。

中九州横断道路は、本市が整備を進める「熊本西環状道路」や九州縦貫自動車道等と一体となって広域道路ネットワークを形成し、物流の効率化や渋滞緩和にも大きく寄与する重要な道路であり、T S M C 進出効果の最大化を図るためにも、一日も早い完成が強く望まれております。

これまでご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、引き続き、国、県、沿線自治体等と連携を図りながら、中九州横断道路全線の早期完成に向けて全力で取り組んでまいります。

令和 8 年（2026 年）4 月 10 日
熊本市長 大西一史